



所長 森田 健一の「日々是好日」

こんにちは。税理士・社会保険労務士の森田健一です。

今回は、「税務調査」の一般的な流れをまとめさせていただきたいと思います。

1. まずは「聞き取り調査」・・・事業内容、取引内容、代表者の家族構成、資産関係など
2. 現金監査(現金商売のみ)・・・現金の残高、保管状況をチェックする。前日の売上状況と比較して現金残高に差異が無い様に注意が必要です。
3. 受注から売上までの流れをチェック・・・取引先や顧客の内容、受注の方法、商品やサービスの引渡方法、売掛金の管理方法を確認の上、チェックをする。
4. 総勘定元帳等の帳簿類をチェック・・・帳簿類を確認して、その根拠となっている証書類をチェックする。
5. 反面調査(書類に不備が多い場合のみ)・・・取引先の会社に問合せ、調査対象社との取引の整合性を調べる場合があります。顧客帳などをコピーされた場合は、かなりの確率で反面調査が行われます。

税務調査は特に不正を行っていないのに根掘り葉掘り調べられて、あまり気分の良いものではありませんが

黒字が出ている会社にはどうしても3年から5年に1度税務調査がやってきます。無用なトラブルにならないように、

税務調査に対する正しい知識を蓄え、適切に対応・主張が出来るよう準備をすることが大切です。



税理士 齋藤雄介の「努力に勝る才能なし！」



こんにちは。税理士の齋藤雄介です。

梅雨も明け、いよいよ夏本番ですね。

ところで、先日車で移動していた時

のこと、国道沿いに何かの行列を発見。

たまに通る道ですが、今まで見かけた

記憶はありません。そこは小さな個人商店の氷屋さんで、かき氷目当ての行列のようでした。

普段かき氷はほとんど食べませんが、せっかくなのでと列に加わって見たところ、意外とゆっくりとしか進まず。日差しを遮るものの無い中、30分近く待つことに。(体感では軽く1時間以上でした…)

ようやく辿り着いた「氷屋さんのかき氷」はやわらかな口当たりで、昔食べた縁日のかき氷などとは随分違いました。暑さもすーっと引いていき、並んだ甲斐はあったかな、と思えました。

これからまだまだ暑い日が続きますが、夏の風物詩も楽しみつつ、乗り切っていければと思います。

事務所・スタッフの日常

先日、料理・パン・ケーキが焼けるクッキングスタジオというところへ行ってきました。

小さな子どもがケーキを焼いていたたり、ご年配の方がクッキーに絵を描いていたたり、男性がパンを焼いていたりと幅広い方がいらしていました。



お菓子を見ていると、組み立てがおもしろそうでした。つか作ってみたいなと思いました。

私は料理をしましたが、食材の話など知らないことが聞けてよかったです。

暑い日が続きますので、夏バテしない為にも食の大切さを感じました。

(文章: 吉田江美)